



えんだより

令和2年3月
旗川幼稚園

卒園・進級おめでとうございます。

暖かい日が続き、園庭のしだれ桜や桃の花が咲き始めました。もう春ですね。

新型コロナウイルスのニュースが連日報道され、情報が日々更新されていますが、正しい知識を得て惑わされないようにしたいものです。

さて、このえんだよりも今年度最後となりました。今月は1年間のまとめとして、子どもたちの成長をお伝えします。

ひよこぐみ 今では5人になり、泣いたり笑ったり、時にはけんかもしながらなかよく遊べるようになりました。「〇〇ちゃんは来る？」と毎朝お友だちの登園を気にする姿は微笑ましく、お友だちがいる楽しさを十分味わえるようになりました。また、ごはんが上手に食べられるようになったり、身支度が一人でできるようになったり、幼稚園でいろいろな事ができるようになりましたね。

はとぐみ 朝のあいさつも元気いっぱいできるようになりました。初めての集団生活で戸惑うことも多くありましたが、友だちとなかよくすることや、自分の物とお友だちの物の違いを知ること、友だちの思いに気づくこと、譲ることなど、集団生活の様々なルールを学びました。進級を間近に控えたこの時期はお友だちや先生とのおしゃべりがとっても楽しい時で、伝えたい思いが止まらないようです。



ももぐみ 2クラスから1クラスになり、友だちとのかかわりが増えました。友だちの良さに気づき、一人ではなく気の合う友だちとのかかわりを十分楽しめるようになりました。また、クラス皆で遊ぶ楽しさも味わっています。さらに話をよく聞き、自分の思いや考えを伝えることもできるようになりました。一人一人がのびのびと自己発揮しています。4月からが楽しみです。

つきぐみ 幼稚園の最年長児として様々な事に取り組んできました。介護施設訪問や消防クラブでのお仕事を通して地域社会や様々な人とのかかわりを勉強したり、たくさんの行事の中で諦めずに最後まで頑張ることを学んだりしてきたことで、昨年とは違う頼もしい姿を見せてくれました。小学校での生活を見通し、自分の言葉で思いを伝えることや、時間を意識しながらの生活の中でも自分のしたい遊びや園生活を楽しんできたつきぐみさん。卒園式ではきっと立派な姿を見せてくれることでしょう。

ひとり遊びから小集団での遊びへと変わるはとぐみ、小集団から大勢での遊びへと発展していくももぐみ、そしてクラスの友だちを仲間と意識し、様々な事を自分たちで決めるようになっていくつきぐみ。幼稚園での学びは遊びを通して行なわれています。言葉の獲得や情緒の発達には人とのかかわりを通して身につくもので、文字や数字の読み書きの練習だけでは生活の中で使いこなすことはできないと考えています。目に見える成長だけではなく、目に見えない成長を周りにいる大人が気付いてあげること、その成長を言葉で伝えてあげながら、一緒に喜ぶことが大切だと思っています。

保護者の皆様には1年間温かいまなざしと、多くのご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。





園バスでドライブ

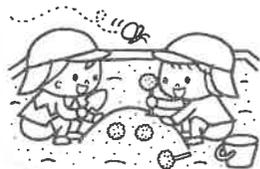


卒園式の予行練習が行なわれていた11日(水)。ひよこぐみさんとはとぐみさんは、毎年恒例となっているドライブに出かけました。今年は足利で馬を見たあと、赤見の弁天様まで行くコースでした。帰ってきた子どもたちは、「楽しかった！」「お馬さんがいたよ！」「弁天様にも行ったよ」と話が止まらず、笑顔で報告してくれました。バスの中から見たものや、バスの中での出来事を思い出し相手にわかるように話をすることが上手になってきた子どもたち。大人がたくさん聞いてあげること、感情に寄り添い共感することを繰り返すことで話し上手な子になっていきます。

忙しいとは思いますが、この時期の会話を楽しんでくださいね。



東日本大震災から9年



9年前を覚えていますか？何をしていましたか？

その日は平日で幼稚園にはいつも通り子どもたちの声が聞こえていました。そろそろ2番バスが来るので用意をしていた時、今までに経験したことのない揺れが襲ったのです。私は預かり保育の当番で子どもたちを連れて2階(その当時2階で行なっていました)にいました。揺れが収まってから子どもたちを外に連れ出し、園庭の中央にいた他の子どもたちの所に行きましたが、余震が続いたり、信号が機能せずバスの運行やお迎えの保護者の方の到着が遅くなったりと、あの日の事は今でもはっきりと覚えています。

今年は平日で午後2時46分に子どもたちと黙とうをしました。いつまでもあの時の体験を忘れず、今後も子どもたちの安全を守っていくためにできることは何かを考えた時間になりました。



おわかれかい



最後のたて割り活動は全園児でつきぐみさんとお別れ会を行ないました。それぞれの学年がつきぐみさんへの言葉や歌を披露した後、手作りのプレゼントを渡しました。

まずはももぐみさんから。グループごとに一文を覚え、とっても長い送る言葉をプレゼント。つきぐみさんへの感謝の気持ちと、4月から「自分たちがつきぐみになるんだ」という意気込みが感じられる言葉でした。プレゼントはピカチュウの鉛筆立て。

次はひよこぐみ。アンパンマンの手遊びと「ありがとう」の言葉。どんぐりころころの歌も披露しました。プレゼントのキラキラおもちゃは大人気でした。38人分を5人と先生で作りました。

はとぐみはひげじいさんの手遊びを替え歌で披露。チューリップのネックレスを一人ずつつきぐみさんの首に掛けてプレゼントしました。

そしてつきぐみ。「ドキドキドン！いちねんせい」と子どもたち全員で意見を出し合い考えたお別れの言葉。プーさんのバッジをプレゼントする子どもたちの優しいまなざしに小さい子を思いやる気持ちを感じられました。

最後は全員で子どもたちの大好きな「パプリカ」を踊って終了となりました。『卒園』という言葉の意味を感じてくれたらと思います。

終わりに・・・1年間えんだよりに読んでいただきありがとうございました。園の様子、子どもの姿、保育者の思いがお届けできていたら幸いです。

